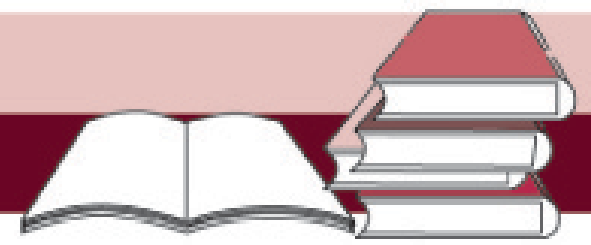


センターブックレビュー



『センス・オブ・ワンダー』

レイチェル・カーソン／新潮社／1996年

米ベストセラー作家にして海洋生物学者であった著者の、最後の著作。姪の息子・ロジャーとの自然の中での体験や自らの思い出が、静かな喜びや祈りをもって紡がれています。「あなたの子どもに驚異の目をみはらせよう」の題で雑誌掲載され、更にふくらませてから単行本として出版をと願っていたレイチェル。死後、彼女の願いを引き継いで友人たちによって出版された本作品は、それだけで感慨深いものがあります。

『写真が語る 地球激変』

フレッド・ピアス著／ゆまに書房／2008年

ありのままを伝える写真と簡潔な説明文があるだけですが、見た後に地球の未来について考えさせられる1冊。過去と現在の写真を対比させて眺めるだけでも衝撃的ですが、地球の変化が私たち人間の手に寄るものであることもリアルに感じられます。ちょっと重たいハードカバーですが、一度手に取って読んでみてはいかがでしょうか。

特集コラム

～新着図書のご紹介～

環境学習交流センターに新しく仲間入りした図書のご紹介です。貸出しもしておりますので、自由研究や調べ物などにどうぞご利用下さい。

- ・『日本低炭素社会のシナリオ
—二酸化炭素70%削減の道筋—』
西岡秀三 編／日刊工業新聞社／2008年
- ・『続・「読む」植物図鑑』
川尻秀樹／全国林業改良普及協会／2008年
- ・『みずものがたり—水をめぐる7の話—』
Think the Earthプロジェクト 編集／
ダイヤモンド社／2008年
- ・『ほっきょくのナヌー 氷がとけたら、どうなるの?』
ナショナルジオグラフィック 編著／
日系BP出版センター／2007年
- ・『森の暮らし たいまぐら便り』
阿部智穂／アノニマ・スタジオ／2008年
- ・『ちょいエコで、ちょいモテ』
テリー伊藤／マガジンハウス／2008年

上記以外にも、“地球温暖化”や“身近に出来るエコ”に関する図書をそろえています。寒くなる季節、家での読書にいかがですか？

<センター通信>スタッフのつぶやき

寒くなってくると暖房費等々お金もかかりますし、それだけエネルギーが使われるということはCO₂もたくさん排出されるということです。CO₂ダイエットを実践するスタッフですが、美味しい物がたくさんあるこの季節、食べ過ぎてダイエットすることのないよう気をつけたいところです。何事も事前の対策（心がけ?）も必要なのですね。後から戻すのは大変ですから…。

講師派遣の 申込み 受付中です

岩手県では環境問題に関する研修会等を開催する場合に環境アドバイザーや地球温暖化防止活動推進員を講師として派遣しています。例えば、公民館の講座や小中学校の総合学習の授業、企業の研修会など様々な場面でご利用いただいております。

申込方法など詳しい情報は、環境学習交流センター（岩手県地球温暖化防止活動推進センター）までお問合せ下さい。また、センターのホームページでも紹介しております。

発行 環境学習交流センター

〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1-7-1 アイーナ5F
TEL:019-606-1752 FAX:019-606-1753
E-mail:eco@aiina.jp

<http://www.aiina.jp/environment/>

◎環境学習交流センターは、
特定非営利活動法人環境パートナーシップいわてが
岩手県から委託を受けて運営しております。

次号は3月発行予定です。
楽しみに待っていてね!

R100
認定番号10000000000000000000
発行しています